

(別紙4(2))

事業所名 グループホームみおつくし

## 目標達成計画

作成日: 令和 5年 5月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	「日々のそのらしい暮らし」ホームが転居してから環境変化への対応が必要となる。毎日の生活の中で、一人一人が望む生活の把握をし、やりたいことの実現を目指したい。	全利用者様一人一人のその日の過ごし方に合わせた支援を行う	毎月のカンファレンスにて、一人一人の生活リズムの把握や利用者様が望む生活を考え支援します。また、毎日利用者様がその日その日をどう過ごしたいのか選択して頂き、利用者様主体の生活を送って頂く。	12ヶ月
2	2	「事業所と地域とのつきあい」ホーム移転につき新しい地域の方との交流や、ボランティアの受け入れの再開	地域行事への参加や、施設で行われる行事の参加お誘い	運営推進会議などで施設の紹介や、見学を行う。地域行事への参加を行い、地域の方に事業所を知って頂く。施設で行われる行事を計画しお誘いする。	12ヶ月
3	35	「災害対策」災害対策について近隣の方との継続的な情報交換ができ、協力して災害対策を考える事で防災意識を高められるようにしたい。	あたらしい近隣の方との交流も含め、近隣の方を交えた災害対策を行う	地域で行われる避難訓練への参加や、近隣の方へ施設で行う避難訓練へのお誘いをし、地域で暮らす住人として災害対策を考えていく。	12ヶ月
4	49	「日常的な外出支援」日常的に外出は行っているが、普段行けないようなところへの外出も本人の希望を把握し、家族の協力を得ながら実施できるようにしたい。	利用者様が望む、非日常的な場所への外出を行う。	利用者様が望む外出先を把握し、非日常を楽しめるような外出の企画する。家族や地域の方々へ協力をお願いすることで希望を叶えていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。